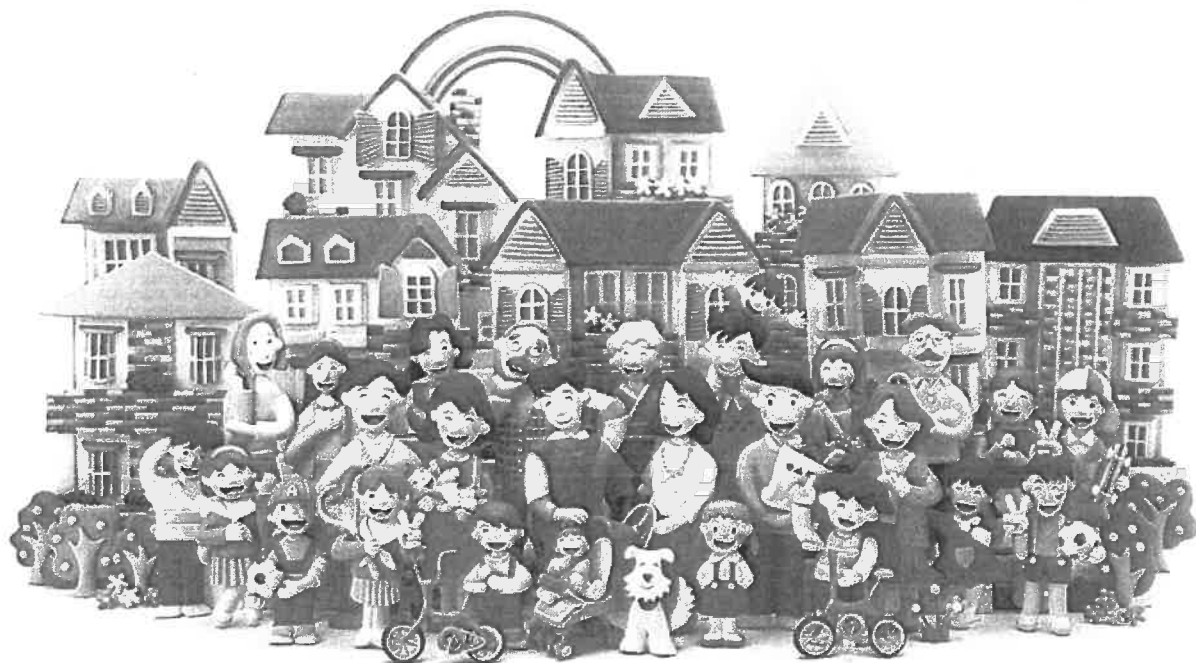


令和3年度大河原教育事務所管内 公民館等巡回訪問実施報告



令和4年3月

宮城県大河原教育事務所

目 次

令和3年度大河原教育事務所管内公民館等巡回訪問実施要項	1
公民館等巡回訪問日程	2
管内公民館等の特色ある事業紹介	3
公民館等巡回訪問を終えて	10
公民館運営評価シート集計表	12
公民館運営評価シート評価平均値	13
公民館運営評価シート「集計表」及び「評価平均値の結果」から	14
研修に関するアンケート結果	15
社会教育関係職員職員研修会	17
大河原管内公民館等一覧	21

各種事業のチラシ紹介

令和3年度大河原教育事務所管内公民館等巡回訪問実施要項

宮城県大河原教育事務所

- 1 目的 「公共の福祉」に貢献し、学習・文化活動の拠点、地域社会のキーステーションとしての各市町の公民館等を訪問し、実態を把握することにより、管内の生涯学習・社会教育の振興、充実に寄与する。
- 2 内容 (1) 各市町公民館等の現状と課題についての情報収集
(2) 公民館等主催事業等についての実態把握と関係資料の収集
(3) 公民館等評価に関する情報の交換
(4) その他（地域学校協働活動の進捗状況等）
- 3 対象 大河原管内の公民館・センター等
(地区公民館・自治センター・まちづくりセンター等も訪問します)
- 4 訪問期間 10月～12月の訪問希望日（各市町と調整）
- 5 訪問期日の決定
教育事務所と各市町で訪問期日等の調整を行い、「公民館等訪問予定一覧」を作成し、当該市町教育委員会に通知する。
- 6 訪問者 大河原教育事務所 教育学事班 生涯学習担当 社会教育主事
- 7 訪問時間 訪問時間を1施設につき45分～60分を目安とし、訪問を計画する。
- 8 その他 (1) 基幹公民館（センター）を訪問対象としますが、地区公民館・まちづくりセンター・自治センター等もできるだけ訪問したいと思います。
(2) 教育事務所の事業等実施日を除いた訪問可能日をもとに、所定の様式により希望訪問日を事務所に報告願います。後日、時間調整を行います。
(3) 訪問については、該各市町の社会教育関係職員の同行をお願いします。
(4) 事業内容等が分かるリーフレット、チラシ等の資料を提供願います。
なお、訪問のための新しい資料を作成する必要はありません。

令和3年度大河原教育事務所管内 公民館等訪問日一覧

	月 日 (希望時間帯)	曜	訪問市町	訪問先公民館等	訪問時刻
1	10月7日	木	七ヶ宿町	七ヶ宿町公民館	10:00~
2	10月12日	火	蔵王町	蔵王町公民館 (ございんホール)	14:00~
3	10月18日	月	大河原町	中央公民館 金ヶ瀬公民館	9:30~ 10:30~
4	10月19日	火	角田市	角田市市民センター	10:00~
5	10月26日	火	丸森町	大張まちづくりセンター	10:00~
6	11月9日	火	柴田町	榎木生涯学習センター 船迫公民館 船岡生涯学習センター	13:30~ 14:30~ 15:30~
7	11月11日	木	川崎町	川崎町公民館	15:00~
8	11月22日	月	白石市	中央公民館 大鷹沢公民館 越河公民館 斎川公民館	10:00~ 11:00~ 13:30~ 14:30~
9	11月25日	木	村田町	村田町中央公民館	14:00~

管内公民館等の特色ある事業紹介

事業名	第28回白石市生涯学習フェスティバル事業 公民館祭り		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館, ホワイトキューブ他
実施期日	年1回		
主な内容	<p>○趣旨 市民総参加による事業を通年にわたり積極的に展開し, 市民が生涯学習に接する機会を広く設け, 「ひとづくり」「まちづくり」の推進を目的とする。</p> <p>○対象 市民</p> <p>○内容 ベガルタ仙台サッカー&ルール教室, 白石市漢字文化セミナー, 白石市を詠む等</p>		

事業名	大鷹沢地区民文化祭		
市町名	白石市	開催場所	大鷹沢公民館
実施期日	11月2日(火), 3日(水), 4日(木), 5日(金)		
主な内容	<p>○趣旨 文化講演や展示発表をとおして地区民の交流を図る。</p> <p>○対象 市民</p> <p>○内容 各種団体作品展示, 企画展示, 大鷹沢郷土愛好会講演, 大鷹沢子ども太鼓, 産直市等</p>		

事業名	越河これから塾		
市町名	白石市	開催場所	越河公民館
実施期日	7月3日(土), 11月13日(土), 12月4日(土)		
主な内容	<p>○趣旨 「越河地区のよいところ, 気になるところ」をテーマに話し合い, 見える化することによって取組の改善策やテーマ毎の企画アイデアを考える。</p> <p>○対象 市民</p> <p>○内容 地域交流, 南中の活用, 助け合い, 移動, 空き家活用について考える。</p> <p>○講師 株式会社ばとん 代表取締役 遠藤 智栄 氏</p>		

事業名	斎川の未来を考える～あなたがつくる未来を創る～		
市町名	白石市	開催場所	斎川公民館集会室
実施期日	8月21日(土), 9月4日(土) ※地区住民はどちらかに参加		
主な内容	<p>○趣旨 第6次白石市総合計画策定に伴い作成した「斎川まちづくり宣言」の具現化を目指した計画作成をワークショップ形式で行う。</p> <p>○対象 市民</p> <p>○講師 NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏</p>		

事業名	第45回趣味の作品展・小学校児童作品展 芸術の秋！食欲の秋！いきいき斎川スタンプラリー		
市町名	白石市	開催場所	斎川公民館，斎川郵便局，あけぼの園他
実施期日	10月27日（水）～11月10日（水）		
主な内容			
○趣旨 第45回趣味の作品展・小学校児童作品展を斎川スタンプラリーと同時開催し，作品展示会場と協力店舗へ地区住民が足を運び，斎川地区の活性化と住民相互の交流を図る。			
○対象 市民			

事業名	第2期かく大學		
市町名	角田市	開催場所	角田市市民センターミーティング室
実施期日	9月12日（日），9月26日（日），10月31日（日），11月28日（日） 12月26日（日），1月30日（日）		
主な内容			
○趣旨 地域と自分を見つめながらプロジェクトを作っていくプログラムを，角田市内の各所に集合して興味関心を共有する。			
○対象 角田市在住の方，角田市へ通勤通学の方，角田市でやってみたいことがある方			
○内容 第1期かく大學生や地域で活躍する方々をゲストに招いて新しいつながりをつくる。また，全国の各種市民大学との連携や交流を図るとともに，最終回では，半年間の歩みを発表する。			
○講師 一般財団法人ワカツク代表理事 渡辺 一馬 氏 外あそび親子サークルやろっこひなっこ 橋本 鮎子 氏 角田市長，かく大學学長 黒須 貫 氏			

事業名	牟宇姫への手紙を読むための「きほんのき」		
市町名	角田市	開催場所	角田市市民センター202会議室
実施期日	11月11日（木）		
主な内容			
○趣旨 牟宇姫について，手紙を読むための基礎的な話を聞き，手紙を読むための基本を学ぶ。			
○対象 角田市在住の方			
○内容 五郎八姫が妹の牟宇姫に送った手紙を読む。			
○講師 角田市郷土資料館 館長 碓子 幸枝 氏			

事業名	松川岩石鉱物研究会		
市町名	蔵王町	開催場所	蔵王町ふるさと文化会館，松川河川敷等
実施期日	10月～2月 月2回のペースで活動		
主な内容			
○趣旨 松川の岩石や鉱物を採集，同定することにより，蔵王の大地の歴史を学ぶ。			
○対象 町民及び町内に通勤・通学されている中学生以上の方			
○内容 松川での岩石鉱物の収集，同定，講習会			
○講師 宮城県蔵王高等学校 教諭 野津 佳 氏			

事業名	郷土史講座～「ふるさと歴史かるた」を読む～		
市町名	蔵王町	開催場所	蔵王町ふるさと文化会館
実施期日	5月16日(日), 5月30日(日), 6月13日(日), 6月27日(日)		
主な内容	<p>○趣旨 「ふるさと歴史かるた」を使用しながら, 絵札の題材となった文化財について学ぶ。</p> <p>○対象 町民の方</p> <p>○内容 奥州藤原氏と地域の歴史, 小野さつき訓導, 遠刈田製鉄所高炉跡, 蔵王のお釜と伊達宗高</p> <p>○講師 蔵王町教育委員会 佐藤 洋一 氏</p>		

事業名	NO!ポッチ会議		
市町名	七ヶ宿町	開催場所	町内
実施期日	通年		
主な内容	<p>○趣旨 高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯に対し「手紙運動」を展開するため, 小・中学校, 高校, 郵便局, 社会福祉協議会, 老人クラブによる支援会議を設立する。</p> <p>○対象 独居高齢者, 高齢者世帯</p> <p>○内容 町内児童・生徒による「手紙運動」による交流</p>		

事業名	中央公民館・金ヶ瀬公民館共催講座 素敵に暮らし再発見講座		
市町名	大河原町	開催場所	大河原町中央公民館 アイリスオーヤマ大河原工場 株式会社ヒルズ とんとんの丘
実施期日	年4回		
主な内容	<p>○趣旨 大河原町の気になることを発見する企画として, 工場見学, 食品加工の秘訣などを探る。また, 暮らしに直結する大河原町役場の仕事の「今とこれから」について受講する。</p> <p>○対象 町民の方</p>		

事業名	ハーバリウム教室		
市町名	大河原町	開催場所	大河原町中央公民館
実施期日	6月23日(水)		
主な内容	<p>○趣旨 ガラスボトルの中に, ドライフラワーやプリザーブドフラワーを入れて, オリジナルのハーバリウムを作成する。</p> <p>○対象 町民の方</p>		

事業名	行灯づくり教室		
市町名	大河原町	開催場所	金ヶ瀬公民館
実施期日	10月20日(水), 10月27日(水)		
主な内容			
○趣旨 手漉き和紙で行灯づくりに挑戦する。			
○対象 町民の方			

事業名	紙紐でつくるお雛様		
市町名	大河原町	開催場所	金ヶ瀬公民館
実施期日	2月2日(水)		
主な内容			
○趣旨 紙紐を使ってお内裏様とお雛様を作成する。			
○対象 町民の方			

事業名	イキイキ学習ポイント事業		
市町名	村田町	開催場所	町内
実施期日	通年		
主な内容			
○趣旨 小学生を対象に実施する体験事業や学習講座に「楽習ポイント」を設け、楽しく学べる学習機会を提供することで、子どもたちの学ぶことへの動機づけや意欲の向上を図る。			
○対象 町内小学生			
○内容 サイエンスクラブ, 天体観測講座, 親子ハイキング, 夏の子ども村キャンプ 布袋まつり山車の引き手, マボック(J・L)発表会, 七夕飾りを作ろう 常夜灯に絵を描こう!! , 小正月行事を体験してみよう			

事業名	はじめての「ipad」カメラ操作&画像編集講座		
市町名	村田町	開催場所	村田町武家屋敷(旧田山邸)
実施期日	8月27日(金), 9月3日(金), 9月9日(木)(全3回:午前・午後の部あり)		
主な内容			
○趣旨 ipadを使用法, FacebookやInstagramの利用方法について学ぶ。			
○対象 町内の成人の方			
○内容 ipad(タブレット端末)の基本操作を学ぼう, 写真と動画をとってみよう 画像を編集してみよう			
○講師 あずなびあ(仙南視聴覚教材センター) 佐々木 洋佑 氏			

事業名	季節を彩る花倶楽部 フラワーアレンジメント講座		
市町名	村田町	開催場所	村田町中央公民館
実施期日	10月29日(金), 11月19日(金), 12月17日(金) 1月14日(金), 2月4日(金), 3月4日(金) (全6回)		
主な内容	<p>○趣旨 季節のお花のアレンジメントについて学ぶ。</p> <p>○対象 町内の成人の方</p> <p>○内容 お花の種類や道具の使い方とアレンジメントについての講義と演習</p> <p>○講師 岩間生花店 岩間 真美 氏</p>		

事業名	里山ハイキング案内人育成研修会		
市町名	柴田町〔槻木生学セ〕	開催場所	太陽の村, 館山ハイキングコース
実施期日	7月16日(金), 10月28日(木)		
主な内容	<p>○趣旨 里山に自生する樹木や草花等に関する知識の習得により, 里山を案内する際に参加者に対して様々なアドバイスができることを目標とする。</p> <p>○対象 町内の方</p> <p>○内容 歴史的建造物, 樹木, 草花等の知識習得</p> <p>○講師 緑を守り育てる宮城県連絡会議会員</p>		

事業名	町内の生きもの観察会		
市町名	柴田町〔槻木生学セ〕	開催場所	太陽の村, 館山ハイキングコース 改善センター周辺, 館山
実施期日	8月21日(土), 9月25日(土), 10月16日(土), 11月20日(土)		
主な内容	<p>○趣旨 町内の生き物の生態を学びながら, 身近にある自然や里山等の環境保全の大切さを再認識し, 参加者相互の交流を促進する。</p> <p>○対象 町内の小・中学生及び保護者</p> <p>○内容 町内の自然環境がどのようになっているのか, 身近にどのような生きものがあるのかを探る。また, 自然環境や地形, 貝塚等の文化財, 生態系がどのように形成されているのかを学ぶ。</p> <p>○講師 槻木生涯学習センター館長</p>		

事業名	イクメン講座 槻木生涯学習センター・船岡生涯学習センター共催事業		
市町名	柴田町〔槻木・船生学セ〕	開催場所	太陽の村, 館山ハイキングコース 改善センター周辺, 館山
実施期日	9月26日(日), 12月5日(日)		
主な内容	<p>○趣旨 家事や子育てについて, 男性の保護者の積極的な子育てへの参加を促すため, 男性の保護者同士が交流できる場の提供を図る。また, 親子で一緒に体験することにより, 子どもの成長を身近に感じながら育児の楽しさについて理解させる。</p> <p>○対象 未就学児および小学生と男性の保護者</p> <p>○内容 アウトドア教室(親子で簡単アウトドアクッキング), 火起こし体験等</p> <p>○講師 柴田町地域おこし協力隊 吉田 謙治 氏</p>		

事業名	DIY教室		
市町名	柴田町〔船岡生学セ〕	開催場所	船岡生涯学習センター
実施期日	8月28日(土), 9月25日(日) 10月23日(土)		
主な内容	<p>○趣旨 簡単なものづくりを行い, 参加者同士が共同で制作することで交流を深め, 会話を楽しみながらものづくりを体験できる機会を創出する。</p> <p>○対象 成人町民</p> <p>○内容 収納ボックスを作ろう, 小物入れラックを作ろう, 収納イスを作ろう</p> <p>○講師 ダイシン船岡店 店長 福士 和明 氏 (DIYアドバイザー)</p>		

事業名	男の料理教室		
市町名	柴田町〔船岡生学セ〕	開催場所	船岡生涯学習センター
実施期日	11月13日(土), 1月15日(土)		
主な内容	<p>○趣旨 男性を対象に料理の基本的な技術を学びながら, 自分の健康や毎日の食事の大切さを体感する。</p> <p>○対象 成人町民</p> <p>○内容 料理の基礎知識, 実習(和食・中華料理), 実食</p> <p>○講師 鎌田 美智子 氏</p>		

事業名	読書活動推進事業「絵本の読み聞かせ」		
市町名	柴田町〔船迫生学セ〕	開催場所	船迫生涯学習センター
実施期日	5月～3月		
主な内容	<p>○趣旨 読み聞かせボランティアサークル「おむすびころりん」と共催し活動する。</p> <p>○対象 町民(子どもとその保護者)</p> <p>○内容 絵本の読み聞かせ, 七夕飾りづくり, カードづくり</p>		

事業名	豊齢者教室		
市町名	柴田町〔船迫生学セ〕	開催場所	船迫生涯学習センター
実施期日	7月～12月		
主な内容	<p>○趣旨 65歳以上の高齢者に対して計5回の講座を開催する。</p> <p>○対象 65歳以上の町民</p> <p>○内容 会議予防教室（柴田町地域包括支援センター）、交通安全教室（大河原警察署）、健康体操体験（柴田町社会福祉協議会）、運転技術向上トレーニング・アプリ体験（まちづくり政策課）、特殊詐欺被害に遭わないために（県消費者相談センター）、遺言と相続登記（仙台法務局）、コンサート（予定）</p>		

事業名	紙甲冑制作講座		
市町名	川崎町	開催場所	川崎町公民館
実施期日	7月～10月		
主な内容	<p>○趣旨 町民のニーズに対応した講座を開設し、余暇の有効利用と趣味の拡大を目指し、受講者の親睦と交流を図る。</p> <p>○対象 町民</p> <p>○内容 白石市「甲冑工房片倉塾」より講師を招聘し、本物にそっくりの紙甲冑を作り上げる。</p>		

事業名	第47回新春児童生徒書き初め会		
市町名	川崎町	開催場所	川崎町公民館
実施期日	書き初め会：1月5日（水） 展示会：1月14日（金）～16日（日）		
主な内容	<p>○趣旨 毛筆水準を高めるとともに、作品の展示と賞賛により、書道に対する意欲を高める。</p> <p>○対象 小学3年～中学3年生</p> <p>○内容 各学年を対象にした書道</p>		

事業名	歩こう歩こうみんなで歩こう		
市町名	丸森町	開催場所	大張まちづくりセンター
実施期日	10月10日（日）		
主な内容	<p>○趣旨 地域の史跡等を散策し、健康増進と参加者相互の親睦を図る。</p> <p>○対象 町民（大張地区）</p> <p>○内容 地域散策</p>		

公民館訪問を終えて

「公民館の設置及び運営に関する基準」平成15年6月6日付けをもって社会教育法（昭和24年法律第207号）第23条の2に基づく、「公民館の設置及び運営に関する基準」（文部科学省告示第112号）が告示され、同日から施行されました。公民館の具体的な機能として、①地域の学習拠点としての機能、②地域の家庭教育支援拠点としての機能、③奉仕活動・体験活動を推進する機能、④学校、家庭及び地域社会との連携等を図る機能、⑤地域の実情を踏まえた運営等が明示されています。訪問させていただきました各地区公民館等の内容について、この5つの機能に照らし合わせて考察いたします。

① 地域の学習拠点としての機能

（第三条：講座の開設、講習会の開催、学校・社会教育関係団体・NPO等との共同開催、インターネット等の活用による学習情報提供及び公開講座や体験活動の提供、教育・学習活動のネットワークの拠点として関係諸機関との連絡・調整）

少子化により、管内でも小中学校の統廃合が進む中、地域にある小・中学校を「コミュニティの核」として、また、「子育て・地域づくりの拠点」と位置付けて各種事業に取り組んでいる公民館がありました。地域の子供たちを巻き込んだ事業を実施することで、ふるさとへの愛着を持たせ、地域の将来を見据え、各種事業への参画を目指している姿が見えました。

今年度の大鷹沢地区民文化祭には、平日に開催したこともあり、地域住民はもとより、大鷹沢保育園、大鷹沢小学校との交流の場を設けることができたようです。普段から大鷹沢小学校児童の送迎乗降場所となっている大鷹沢公民館では、児童が文化祭展示の準備や後片付け等も行ったようです。4日間開催による来館者は、県内外から287名と大盛況だったようです。

インターネット等を活用した情報提供については、公民館独自のウェブサイトを開設し、SNSを活用した事業紹介や参加募集等、新たな取組をしている公民館がありました。今後も継続的に活用していただくようお願いいたします。

② 地域の家庭教育支援拠点としての機能

（第四条：家庭教育に関する学習機会及び情報の提供、託児室の整備と託児サービスの充実、子育てボランティア及び地域指導者等とのネットワーク機能等）

県教育委員会では、家庭教育を行う親の「学び」と「育ち」を地域全体で支えるために、必要な情報や学習機会の提供、地域での家庭教育に関する相談対応、家庭教育支援者の育成及び家庭教育支援チームの普及と活用を促進し、家庭教育の充実と振興を図っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、幼児と保護者を集めて活動することが困難な中、各市町が家庭教育学級、子育てサポーター養成講座等を開設していました。

村田町では、家庭教育学級の学習内容や形態を工夫するなどして参加者が安全に取り組みました。柴田町では、就学時健診時に開催する親の学習機会の開催時間を短縮してプログラムを編成しました。今後も、関係部局をはじめとした子育て・家庭教育支援者がタテとヨコのつながりを意識して事業展開していくことや、既存の事業を活用した創意・工夫が必要とされます。引き続き、地域の「学びの拠点」として、公民館の機能をなお一層活用していただきたいと思えます。

③ 奉仕活動・体験活動を推進する機能

(第五条：青少年の体験活動事業、ボランティア養成研修会、奉仕・体験活動の学習機会や学習情報の提供等)

地区の環境整備に積極的に関わっている公民館が多くあり、清掃・除草活動をはじめ、お祭りの支援等、各地域の実情にあわせた取組が行われています。大鷹沢地区では、文化財の一つである三沢城跡を整備し地区内外で広く認識してもらおうねらいがあり、草刈りや看板立てを地区住民の手で行うことにより、地区に対する愛着を育んでいます。前述した大鷹沢地区民文化祭においても大鷹沢郷土愛好会の皆さんが地域の文化歴史について講演しました。公民館が「地域の拠点」として機能していくことが、大きな役割だと強く感じました。

④ 学校、家庭及び地域社会との連携等を図る機能

(第六条：関係機関・団体との緊密な連絡及び学校・家庭・地域社会との連携の推進、事業への地域住民の参加促進と学習成果発表の機会、学習成果並びに知識・技能の活用等)

県教育委員会では、家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくりを目指し、管内2市7町で「地域学校協働活動」の充実を図るとともに、三者が協働して子供を育てる環境づくりを推進しています。また、地域教育力の向上、地域住民の生きがい・やりがいづくり、地域づくり等をとおして、地域全体で子供を育てる機運の醸成と体制整備を図っています。

公民館や学習センター等でも学校教職員や地域のボランティアとともに事業を展開し、地域の活性化に向けて効果的な取組をしている公民館が多くみられます。

一方で、少子化の影響で、管内でも小・中学校の統廃合の動きが見られます。これから起こりうる学校の統廃合やそれに付随する課題への対策として「地域学校協働活動」の充実は不可欠であると考えます。引き続き、家庭・地域・学校が協働して子供を育てる仕組みづくりを行い、地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる環境の整備を図ることが重要視されます。

⑤ 地域実情を踏まえた運営機能

(第七条：公民館の設置者は、地域の実情に応じて、公民館運営審議会を十分に活用するなどにより、地域住民の意向を適切に反映した公民館の運営に努めるものとする等)

中央教育審議会答申（平成30年）では、『社会教育』を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが一層重要であるとし、各地域の社会教育の現状を踏まえ、地域における新時代の社会教育の方向性を示しました。あらゆる社会教育の出発点となるのが個々人の学びの意欲と学びの場への主体的な参画といわれる中、今後、首長部局、学校、NPO、企業等の多様な主体が、これまで以上に連携・協働することが必要となります。とりわけ、生涯学習・社会教育施設には、「学習の拠点」としてのみならず、住民主体の地域づくりや持続可能な共生社会の構築に向けた取組の拠点としての役割が求められています。

最後になりますが、各公民館長・センター長をはじめ職員の皆様方には、資料やアンケートを作成いただくとともに、貴重なお話を聞かせていただきました。管内市町教育委員会教育長様、生涯学習主管課長様、生涯学習課職員の皆様方の御理解と御協力に対しまして深く感謝申し上げます。

公民館運営評価シート集計表

■趣旨

・公民館運営評価シートにより、公民館運営に関する、目標・事業・組織・事務等の項目で自己評価することで、各公民館の実態や職員の意識を把握し、管内全体の現状と課題を把握するために実施した。

■調査対象及び調査方法等について

- ・調査対象 管内公民館・生涯学習センター等
- ・調査方法 「公民館運営評価シート」の各項目について、各施設長・職員が1～4の評価基準により自己評価を行う。
- ・調査期間 令和3年10月7日～令和3年11月22日 ・有効回答数（N）=92（一部無回答あり）

《評価基準》4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：改善が必要である。

	項目	評価の観点	4	3	2	1	計
目標	目標①	公民館全体運営の目標は、地域の実態や課題に対応して立てられている。	29	57	3	1	90
	目標②	公民館全体運営の目標は、地域住民に理解されている。	14	57	16	3	90
	目標③	公民館全体運営の目標は、公民館職員に周知・徹底されている。	40	37	11	2	90
	計画	公民館の目標を具現するために、年間計画が立てられている。	52	30	7	1	90
事業の実施	事業展開①	公民館事業を展開するとき、地域の実態や課題等を把握する方策がとられている。	17	61	12	2	92
	事業展開②	公民館事業は、地域住民の願いやニーズに対応している。	17	59	14	2	92
	事業展開③	公民館事業を展開する際、ねらいを明確にし、その充実が図られている。	16	61	15	0	92
	事業展開④	学級・講座をサークル化につなげる学習プログラムの開発に努めている。	15	44	28	4	91
	事業展開⑤	子育て・家庭教育について学習する機会の提供を図っている。	18	47	21	5	91
	連携・協力	関係団体及び諸機関等との協力体制を構築し、十分に連携が図られている。	26	58	7	1	92
	情報の提供	公民館活動の情報を多様なツールを活用し地域住民に提供している。（HP、広報誌の工夫）	28	51	11	2	92
組織・運営・事務	組織	職員相互の連絡調整がよくなされ、協力し合い、責任を持って職務を遂行している。	43	41	4	4	92
	研修	自ら資質・能力を高めるための研修の必要性を自覚し、研究・研修に意欲的に取り組んでいる。	13	51	24	4	92
	会議	各種会合の企画・運営は適切に行われている。	34	53	4	1	92
	予算	公民館運営のために職員間の共通認識のもとで、予算編成や執行にあたっている。	38	49	5	0	92
	施設・設備①	教育委員会との連携を密にし、施設・設備の適切な整備と計画的な物品等の購入に努めている。	38	44	9	1	92
	施設・設備②	住民がいつでも気軽に集まれるスペースの確保、ロビー等の各種展示の工夫に努めている。	31	55	6	0	92
	事務	文書の收受・発送・保管は適切である。	51	38	2	0	91

公民館運営アンケート・評価平均値

■趣旨

・公民館運営評価シートにより、公民館運営に関する、目標・事業・組織・事務等の項目で自己評価することで、各公民館の実態や職員意識を把握し、管内全体の現状と課題を把握するために実施した。

■調査対象及び調査方法等について

- ・調査対象 管内公民館・生涯学習センター等
- ・調査方法 「公民館運営評価シート」の各項目について、各施設長・職員が1～4の評価基準により自己評価を行う。
- ・調査期間 令和3年10月7日～令和3年11月22日 ・有効回答数(N) = 92 (一部無回答あり)

《評価基準》 4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：改善が必要である。

※下線の値は前年度から数値が0.3以上変化した設問

	項目	評価の観点	H29	H30	R01	R02	R03
事業の実施	目標①	公民館全体運営の目標は、地域の実態や課題に対応して立てられている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3
	目標②	公民館全体運営の目標は、地域住民に理解されている。	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
	目標③	公民館全体運営の目標は、公民館職員に周知・徹底されている。	3.8	<u>3.3</u>	3.3	3.4	3.3
	計画	公民館の目標を具現するために、年間計画が立てられている。	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5
事業の実施	事業展開①	公民館事業を展開するとき、地域の実態や課題等を把握する方策がとられている。	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0
	事業展開②	公民館事業は、地域住民の願いやニーズに対応している。	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0
	事業展開③	公民館事業を展開する際、ねらいを明確にし、その充実が図られている。	3.3	<u>3.0</u>	3.0	3.2	3.2
	事業展開④	学級・講座をサークル化につなげる学習プログラムの開発に努めている。	2.7	2.7	2.5	2.7	2.8
	事業展開⑤	子育て・家庭教育について学習する機会の提供を図っている。	2.9	2.8	2.7	2.8	2.9
	連携・協力	関係団体及び諸機関等との協力体制を構築し、十分に連携が図られている。	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2
	情報の提供	公民館活動の情報を多様なツールを活用し地域住民に提供している。(HP, 広報誌の工夫)	3.2	3.1	<u>2.8</u>	<u>3.1</u>	3.2
組織・運営・事務	組織	職員相互の連絡調整がよくなされ、協力し合い、責任を持って職務を遂行している。	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3
	研修	自ら資質・能力を高めるための研修の必要性を自覚し、研究・研修に意欲的に取り組んでいる。	2.8	2.9	3.0	2.9	2.8
	会議	各種会合の企画・運営は適切に行われている。	3.5	3.4	3.5	3.3	3.3
	予算	公民館運営のために職員間の共通認識のもとで、予算編成や執行にあたっている。	<u>3.3</u>	3.5	3.5	3.4	3.4
	施設・設備①	教育委員会との連携を密にし、施設・設備の適切な整備と計画的な物品等の購入に努めている。	3.1	3.3	3.4	3.2	3.3
	施設・設備②	住民がいつでも気軽に集まれるスペースの確保、ロビー等の各種展示の工夫に努めている。	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3
	事務	文書の收受・発送・保管は適切である。	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6
平均			3.2	3.2	3.2	3.2	3.2

公民館運営アンケートの「集計表」及び「評価平均値」から（考察）

1 全体として

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながらも、事業中止や規模縮小、社会教育施設の利用に制限をかけるなど、異例の公民館運営となったようです。そのような状況でありながらも、職員の方々が、知恵を絞り、事業形態に変化をもたせ、実践してきた結果がアンケートの「事業の実施」の高評価に現れています。職員の方々が日々確実に業務を遂行するとともに、謙虚に評価・省察していることが分かりました。

2 目標について

公民館の運営目標は、前年度の事業を省察し、それぞれの地域の実態や課題を把握しながら、各館にあった目標を設定することが望まれます。そのためには、事業ごとの振り返りや公民館運営審議会やそれに類する会議の実施により、参加者や第三者による生きた意見を求めていく必要があります。また、各事業の目標（ねらい）に基づき、適切な計画作成が求められます。各館の聞き取りやアンケート結果から、地域の実態や課題に対応した目標を設定し、それを具現化するための計画がしっかりと立てられていることが確認できました。一方で、目標や計画が職員間で周知・徹底されていないケースが少なくありません。ぜひ、目標や計画を、職員間で共有し、関係諸機関との連携を図り、事業を実施していただきますようお願いいたします。

白石市斎川公民館や白石市越河公民館では、「まちづくり・地域づくり」に特化したテーマで講師にグループワークのファシリテーションを依頼しています。地域に居住する子供から大人までが「地域の今後の在り方」について知恵を出し合います。地域住民が熟議した結果を今後の事業に反映していくといった好循環が生まれています。

3 事業の実施について

各公民館の運営目標や計画がしっかりと策定されていれば、事業の実施がスムーズに進みます。前述したように目標と計画がしっかりと立てられていますので、今後は、事業展開や関係団体及び諸機関等との協力体制の構築が望まれます。少数ではありますが、複数年をかけて、ボランティア同士のつながりが深まり主体的に活動しているサークル（団体）が活動を充実させています。アンケートでも「事業展開④⑤」のポイントが上昇するなど、担当者の意識も向上しています。今後も関係職員として、学習者との「信頼関係の構築」はもとより、担当者としての「しかけ」づくりが重要となってきます。今後も、日々の研鑽やネットワークの構築に御努力いただきますようお願いいたします。日頃、各種事業の周知と成果の情報発信については、多様なツールを活用しておられますが、引き続き、地域住民のニーズに合った情報発信の創意・工夫されますようお願いいたします。

4 組織・運営・事務について

例年、どの館でも比較的高い評価をしている項目です。少ない人員の中で、職員の皆様が日々の業務に献身的に取り組まれていることが分かります。引き続き、「職員の資質・能力の向上」と「組織力の向上」に努めていただきますようお願いいたします。

「職員研修」に関するアンケート結果

■対象

・公民館の職員 計88名

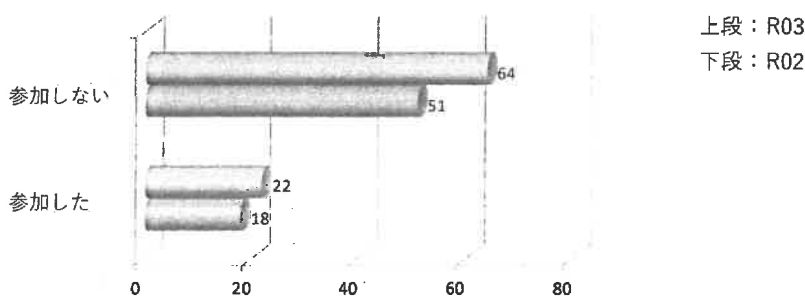
■方法

・質問紙記入（事前に質問紙を配付し、訪問時に回収）※設問により、無回答のある質問紙が複数枚あった。

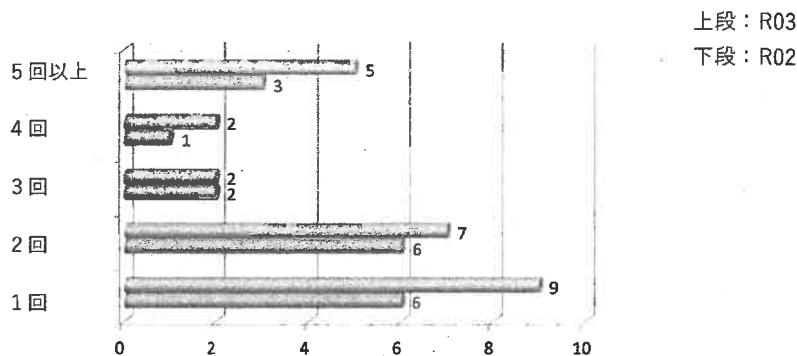
■属性

〔勤務形態〕		〔性別〕		〔勤務年数〕	
・常勤	55名	・男性	55名	・1年未満	35名
・非常勤	33名	・女性	33名	・2年以上～5年未満	33名
				・5年以上～10年以下	12名
				・11年以上	8名

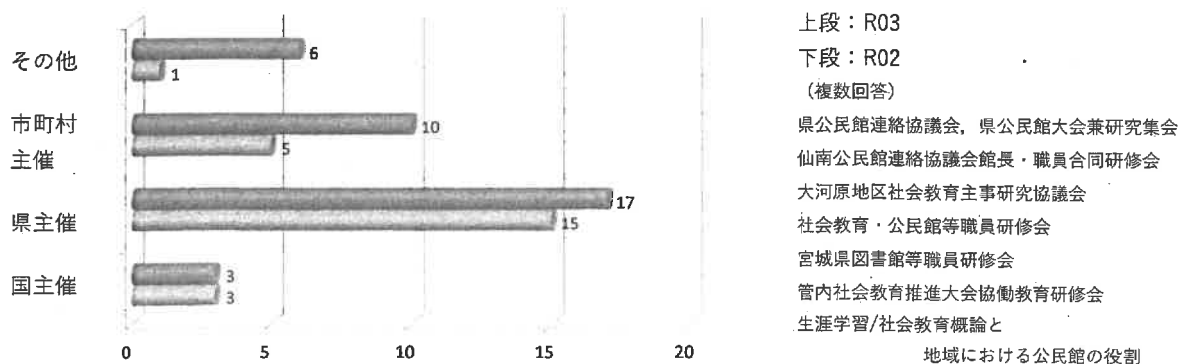
設問1 昨年1年間で自分の職務に関わる研修に参加しましたか。



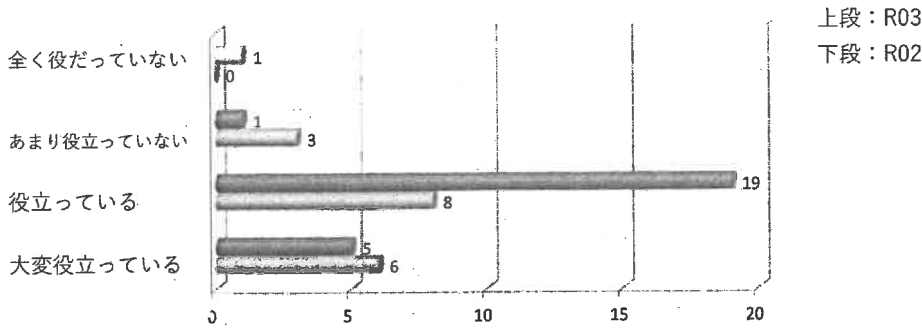
設問2 何回研修に参加しましたか。（設問1で「参加した」と答えた人）



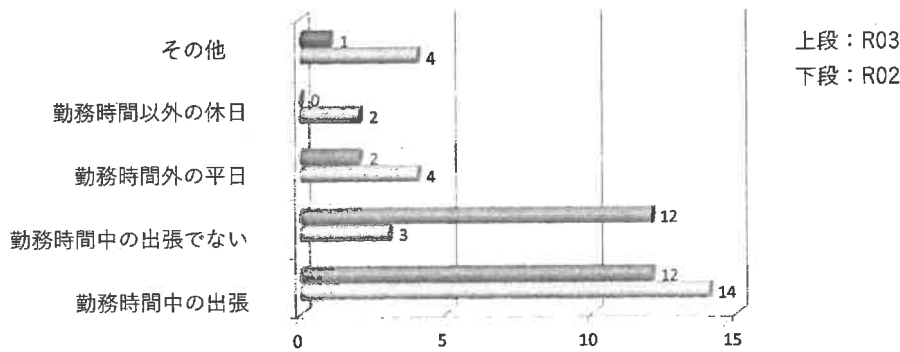
設問3 参加した研修会の主催はどこですか。（設問1で「参加した」と答えた人）



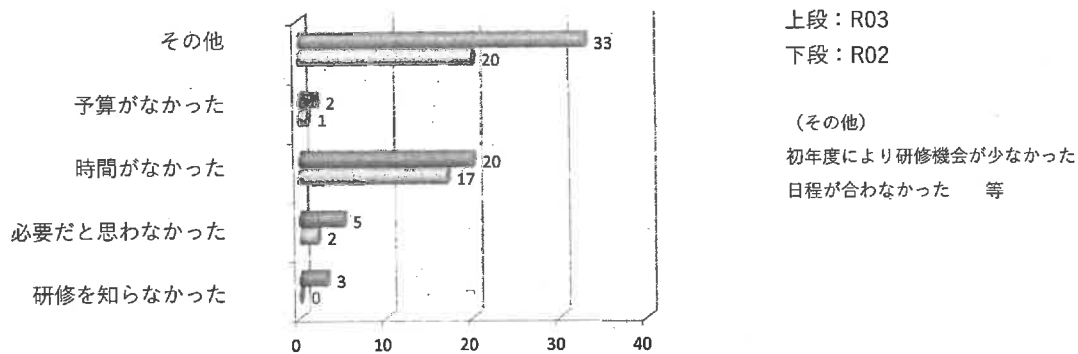
設問4 参加した研修は役に立っていますか。(設問1で「参加した」と答えた人)



設問5 参加した研修には、主にどのような勤務態様で参加しましたか。(設問1で「参加した」と答えた人)



設問6 研修に参加しなかった主な理由は何ですか。(設問1で「参加しなかった」と答えた人)



設問7 どのような研修があれば参加したいですか。

- ・管理者向けの実践的な研修、初任者向け研修
- ・地域運営組織の法人化の進め方 (NPO, 一般法人など)
- ・地域住民参加型のまちづくり講座
- ・コロナ禍にあつての公民館運営・取組事例、主催事業の事例紹介 (発表会)
- ・近隣市町村の公民館職員との意見交換会
- ・恒常性があり、今後の運営に活性化がみられる研修
- ・上手な組織の運営方法について
- ・本地域において活用できるような内容の研修会
- ・公民館に来られない方にも楽しんでもらえる行事等の事例を学びたい
- ・学習評価 (協働教育を含む)、社会教育行政等の新しい動き
- ・オンライン講座の開催の方法
- ・災害時の避難所生活等に関する研修

令和3年度 大河原教育事務所管内社会教育関係職員等研修会開催要項

- 1 趣 旨 社会教育に関する専門的知識の習得や事業推進の心得と技能等の養成をとおして、公民館等施設職員・社会教育関係職員としての資質の向上を図る。また、青少年・青年教育に関わる地域住民や社会教育関係者等が地域づくりへの参画の手法について学ぶ機会とする。
- 2 主 催 宮城県大河原教育事務所
- 3 日 時 令和3年7月31日（土）午前9時30分から午前11時30分まで
- 4 場 所 大河原教育事務所 第二会議室（別館2階）
- 5 対 象 管内公民館・生涯学習センター・自治センター・まちづくりセンター等施設職員
管内社会教育指導員、社会教育主事、青少年・青年教育担当者、仙南青年文化祭実行委員等
- 6 日 程
 - (1) 開会
 - (2) 開会の挨拶 大河原教育事務所 所長 市岡 良庸
 - (3) 講話 9:45～11:15
「青少年・青年の関わりと地域づくり」 講師：認定NPO法人底上げ 成宮 崇史 氏
 - (4) 質疑応答
 - (5) 閉会の挨拶 大河原教育事務所 次長 八島 信
 - (6) 閉会
- 7 参加申込
各市町担当者は、別紙様式2により、参加者をとりまとめの上、令和3年7月15日（木）までに大河原教育事務所生涯学習担当までメールにて報告願います。

社会教育関係職員等研修会

7月31日(土)、大河原合同庁舎を会場に、社会教育関係職員等研修会を開催しました。この研修会の趣旨は、社会教育に関する専門知識の習得や事業推進の心得と、技能等の養成をとおして公民館等施設職員・社会教育関係職員としての資質の向上を図ることです。管内からは、経験豊富な職員から初任層の職員が集い、社会教育・生涯学習やまちづくりについて理解を深めました。また、今年度は、仙南青年文化祭実行委員(青年層)の研修機会として位置付け、青年層の学びの機会を創出しました。

講話では、認定NPO法人底上げ 理事兼事務局長 成宮崇史氏から「青少年・青年の関わりと地域づくり」と題して、青少年・青年層を中心とした多世代交流、マイプロジェクト、探究学習コーディネート、地域としてのまち大学構想等、人と人、人と地域をつなぐための多くのヒントをいただきました。取り組んだワークでは、参加者が笑顔で交流するとともに、自市町の現状と課題について情報交換を行いました。



認定NPO法人底上げ

理事兼事務局長 成宮 崇史 氏



講話「青少年・青年の関わりと地域づくり」

【参加者の声】

- 私は東北大学社会教育主事講習を受講していて、気仙沼で活躍されている成宮さんのことを知り、直接お話を伺いたく参加しました。成宮さんの10年間の取組はすごいと思います。とても参考になりましたし、これをきっかけとして、自分の町で実践していきたいと思います。機会があれば気仙沼に行って成宮さんの活動を直接拝見してみたいです。
- 地域活動をしている身としても、とても有意義な講演でした。次世代の育成をする立場にもなっているのでも、また機会があれば講演を聞きたいです。
- 本気で地域に関わっている成宮さんの話を聞いて参考になりました。今後のボランティア活動に活用していきたいです。また、この話を後輩に伝えて、ジュニア・リーダーの育成にも力を入れていきたいです。
- 成宮氏の講演を聞き、私自身もジュニア・リーダーの主担当として中高生との関わりがあるので、今後の業務へ学んだことを生かしていきたいと思いました。

- 4ステップ (IN~with)の話で「about」で終わってしまうことが多いことが非常に共感できました。また、見極めの部分で「その子にはどこまでできるのか？」という話は、子どもたちに対してだけでなく、職場でも同じことが言えると思います。上司・先輩が部下・後輩に対して、どこまで役割を預けていくのかというの、これに似ているのではないかと。
- 「自分で考える、動く」という意識を育む場が、どんな場が理想か、改めて考えさせられました。「Society5.0」の話も、今後の社会で人のつながり方、人生を生きていくための要素が変化していくことから、新しい視点でのまちづくり、若者の人材育成を考えていけるといいなと思いました。今日のお話、とても聞きやすく、共感するものが沢山ありました。ありがとうございました。
- 気仙沼での活動について詳しく説明されて、とても勉強になりました。自分の町へ持ちかえり、青年教育へも当てはめて活動してみたいです。
- 気仙沼市のマイプロジェクトの仕組みを知るうえで「地域を育てる4ステップ」は自分の事業組み立てにも参考となりました。また、参画者においてもすべて一人に任せるのではなく、質のよい問いを投げ、「待つ」を実践することで参画者の意識改革につなげたいです。本日は貴重な講話を聞くことができました。
- 日々の何気ないことにも「問い」をもって生活しようと思いました。私は考えるということが苦手だと自負しています。何か行動するためにもまずは「問い」を持つことから始めようと思います。
- 高校生からじゃ遅いと思い、小中学生のころからこのような取組をするように切り替えたのがすごいと思いました。自然体で取り組むアワードは面白いと思いました。個人的にはカードゲーム面白かったです。
- 「地元で何か達成し周りから評価」「生きる喜びをすべての若者に」スライドの中にあった文、何か印象に残りました。
- 気仙沼市の事例についてや、地域づくりとの関わりなど、とても貴重なお話を聞くことができ、今後の参考となるようなことばかりでした。学校や他団体等との連携を密に、中高生向け事業や地域で育てる4ステップがとても印象に残りました。
- 「地元で根付くこと」がなくなってきた中で、とても参考になるお話でした。4ステップの話では、In Aboutで終わってしまっていること、とても実感していて、高校生から急に意識が変わることが難しいというの、ハッとさせられました。小中高・社会人、地域全体で生涯の流れの中で組み立てていくことが大事なんだと感じました。また、「見極め」も、ジュニア・リーダーを担当していて、自主的に活動してもらうことを意識するあまり、パニックゾーンの活動をさせてしまったこともあったのかなと反省しました。見極めと、その子の成長を考えながら働きかけていきたいなと感じました。
- 自分の地域でも小学校が今年の3月に閉校し、跡地利活用について住民と話し合い、進めていくことになるが、若い人たちを取り込み、意見を聞く機会をつくりたいと思った。世代間交流の大切さを、どのように進めていくか参考にしたい。
- 中学生と高校生の活動の他に、青年の活動についても話してほしかった。
- NPOで活動を始めようとしていたところ、いい機会にめぐまれた。大変面白い話が聞けて良かったです。
- 自分のインプットをどんどん増していきたいと思える話で、あっという間の90分でした。

○若者に地域愛を育ませるうえで、貴重なこと（will can do やゾーンの見極め）が多々あり、今後に生かしていける部分を多く感じました。また、気仙沼市の取組もとても参考になると感じました。

○昨年まで私自身が高校生だったので、学生の立場で物事を考えさせられました。地域に関わる機会は何度かあった記憶はありましたが、その時に「楽しい」ではなくて「めんどくさい」と思ったのを覚えています。子どもと地域の接点を上手くもたせられないのが問題なんだなあと感じました。とても楽しく学びになる時間でした。

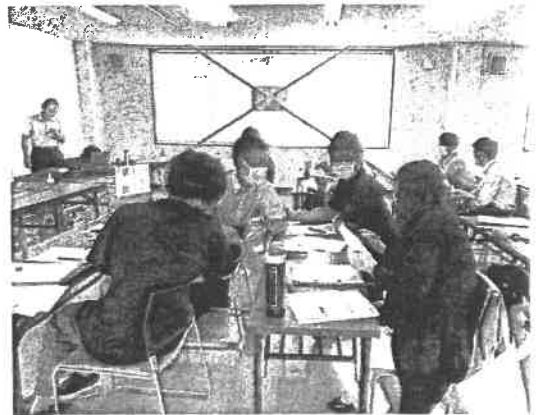
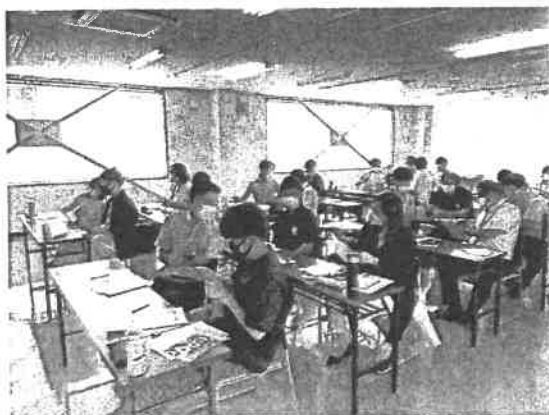
○とても参考になるキーワードが沢山あり、わくわくしながらお話を聞いていました。自分で課題を設定して探究していける環境はとても魅力的なことだと思いました。また、自分自身のネットワークを広げておくことはとても大事なことだと改めて成宮さんのからのお話で認識することができました。

○気仙沼市の実践、日々の業務の中で非常に参考にさせていただいています。そのうえでやはり生で聞いてみないとわからなかった発見も沢山あったように思います。少しずつ整理しながら、次は実際にうかがって現場を見学してみたいと思っています。

○行政の職員として参加しました。私も地元の学生など、将来的に町と関わってくれる人を育てたいと思っています。今日の研修会でなんとなくヒントが分かったような気がします。参加してよかったです。

○地元の良さや魅力などを発見するきっかけに必要なことが分かり、大変参考になりました。町の成人式に結び付けられれば良いなと思いました。

○官民の連携について参考となりました。



大河原管内公民館等一覧

		公民館等名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX
1	白石	1 白石市中央公民館	989-0206	白石市字寺屋敷25-6	0224-26-2453	24-5377
2		2 白石市越河公民館	989-0111	白石市越河五賀字南原2-1	0224-28-2101	28-2561
3		3 白石市斎川公民館	989-0216	白石市斎川字新町尻3	0224-25-2701	25-6128
4		4 白石市大平公民館	989-0216	白石市大平中目字西田7	0224-25-2338	25-2338
5		5 白石市大鷹沢公民館	989-0213	白石市大鷹沢三沢字5-48	0224-25-2711	25-6447
6		6 白石市福岡公民館	989-0232	白石市福岡長袋字陣場ヶ丘12-2	0224-25-2249	25-2249
7		7 白石市深谷公民館	989-0731	白石市福岡深谷字南沖21	0224-24-4540	24-4590
8		8 白石市小原公民館	989-0233	白石市小原字中北前田3-2	0224-29-2031	29-2900
9		9 白石市白川公民館	989-1102	白石市白川津田字内堀6-1	0224-27-2101	27-2517
10	角田	1 角田自治センター	981-1505	角田市角田字牛館19-5	0224-63-2224	63-5559
11		2 横倉自治センター	981-1512	角田市横倉字杉の堂40	0224-62-2314	63-5357
12		3 小田自治センター	981-1514	角田市小田字福田80	0224-62-4292	62-4292
13		4 枝野自治センター	981-1504	角田市島田字光畑57-1	0224-63-2141	63-5358
14		5 藤尾自治センター	981-1502	角田市尾山字五反田198	0224-63-2131	61-1055
15		6 東根自治センター	981-1533	角田市平貫字土浮102	0224-69-2111	69-2410
16		7 桜自治センター	981-1522	角田市佐倉字裏一番155	0224-63-2142	63-5360
17		8 北郷自治センター	981-1524	角田市岡字阿弥陀入33-1	0224-68-2111	67-1055
18		9 西根自治センター	981-1516	角田市高倉字本町15	0224-65-2111	67-3001
19	蔵王	1 蔵王町公民館	989-0821	蔵王町大字円田字西浦5	0224-33-2018	33-2019
20		2 蔵王町宮地区公民館	989-0701	蔵王町宮字町21	0224-32-2311	32-2341
21		3 蔵王町平沢地区公民館	989-0831	蔵王町大字平沢字内屋敷14-1	0224-33-2220	33-2220
22		4 蔵王町遠刈田地区公民館	989-0916	蔵王町遠刈田温泉字北山18-1	0224-34-2331	34-2376
23		5 蔵王町永野地区公民館	989-0821	蔵王町大字円田字西浦5	0224-33-2018	33-2019
24		6 蔵王町円田地区公民館	989-0821	蔵王町大字円田字堀の内4	0224-33-2332	33-2407
25	七ヶ宿	1 七ヶ宿町公民館	989-0512	七ヶ宿町字関126	0224-37-2195	37-2203
26	大河原	1 大河原町中央公民館	989-1241	大河原町字町196	0224-53-4050	53-4051
27		2 大河原町金ヶ瀬公民館	989-1224	大河原町金ヶ瀬字原88	0224-52-6635	52-6736
28	村田	1 村田町中央公民館	989-1305	村田町大字村田字西田28	0224-83-2023	83-3385
29		2 村田町沼辺地区公民館	989-1321	村田町大字沼辺字学校前62	0224-52-1644	52-6444
30		3 村田町小泉地区公民館	989-1302	村田町大字小泉字古館1-2		
31		4 村田町姥ヶ懐地区公民館	989-1302	村田町大字小泉字朧石29		
32		5 村田町菅生地区公民館	989-1301	村田町大字菅生字宮根59	0224-83-2301	83-5778
33		6 村田町西足立地区公民館	989-1311	村田町大字足立字明神93		
34		7 村田町東足立地区公民館	989-1311	村田町大字足立字岫13		
35	柴田	1 船岡生涯学習センター	989-1612	柴田町大字中名生字西宮前49	0224-59-2520	59-2580
36		2 槻木生涯学習センター	989-1752	柴田町槻木下町3-1-60	0224-56-1997	56-1997
37		3 船迫生涯学習センター	989-1622	柴田町西船迫3-3-104	0224-57-2011	57-2173
38		4 船岡公民館	989-1731	柴田町船岡東1-2-65	0224-55-2023	54-1420
39		5 船迫公民館	989-1731	柴田町東船迫1-8-1	0224-56-5128	56-5135
40		6 西住公民館	989-1606	柴田町大字船岡字大住町13-1	0224-52-4101	52-4101
41	川崎	1 川崎町公民館	989-1501	川崎町大字前川字裏丁175-2	0224-84-2111	85-1026
42	丸森	1 丸森まちづくりセンター	981-2152	丸森町字鳥屋120	0224-72-1683	72-4201
43		2 金山まちづくりセンター	981-2402	丸森町金山字下前川原17	0224-78-1121	73-7006
44		3 筆甫まちづくりセンター	981-2201	丸森町筆甫字和田80-2	0224-76-2111	73-6008
45		4 大内まちづくりセンター	981-2501	丸森町大内字横手82-1	0224-79-2004	73-3008
46		5 小斎まちづくりセンター	981-2401	丸森町小斎字山崎63	0224-78-1111	73-7007
47		6 館矢間まちづくりセンター	981-2102	丸森町館矢間館山字大門148-1	0224-72-2120	73-1036
48		7 大張まちづくりセンター	981-2301	丸森町大張大蔵字川前39-1	0224-75-2124	73-5008
49		8 耕野まちづくりセンター	981-2303	丸森町耕野字小屋館7-4	0224-75-2134	73-5007

